	令	和2年度 事務事業	評価表	9184 一般会計
事務事業名	家庭系ごみ排出抑制推進事	業		
車殺車業担业	部 名	課名	担当名	責任者
事務事業担当	環境施設農政部	座	資源・廃棄物対策係	小日山 降一

1. 位置づけ・事務事業	*の期間								
	基本目	標	まちの健康・	環境にも人にも優しい快適な都市空間が	整うまち				
総合計画体系	個別目:	標	環境を守り育	てる					
	めざす	成果	ごみの減量・	みの減量・資源化により循環型社会への歩みが進み、清潔なまちが維持され					
		廃棄物の処理及	及び清掃に関す	る法律					
根拠法令	名 称	地方自治法	方自治法						
当該事業の法令等によ	る義務付け	の有無	有						
市 改 市 米 の 知 問		事業開始年度		事業終了(予定)年度	事業期間				
事務事業の期間		平成16年度			設定無し				

大件費		平成16年度										設定	無し	
対象	の無更													
市民	77 M 3C		総事	業費								(ì	<u></u>	千円)
事業費			140 -	- - - - -	3	1年度	. (決	質額)	2年度	(決算を	額)			
日 的			事	業費					- 1/2			<u> </u>		22, 364
自 的 家庭系有料指定ごみ袋の制度により、ごみの減量化を図ります。			_											6, 391
家庭系有料指定ごみ袋の制度により、ごみの減量化を図ります。 手段、手法【実施手法:直営・委託			_											28, 755
Substance	定ごみ袋の制				事業を	小			 訳					
・家庭系ごみの排出に有料指定ごみ袋を使用します。														(
・家庭系ごみの排出に有料指定ごみ袋を使用します。 - *** - *** - *** - *** - *** - ** - *					Ų	見支と	出金							(
一般財源 一般財源 一般財源 一般財源 一般財源 一般財源 一般財源 一般財源 一般財源 一般財産 一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一	【実施手法:	直営・委託			ī	市債								(
A	の排出に有料	 定ごみ袋を使用します。			-	その作	也						12	22, 36
A														(
名称 有料指定ごみ袋の販売組数 単位 内容説明 有料指定ごみ袋の販売組数 1、123、430 1、124 1、139、440 1、123、430 1、124 1、139、440 1、120、410 1、123、430 1、124 1、139、440 1、120、410 1 、120、410						` 計	-						12	22, 364
大きな 大き			3.	活動内	容_									
大容説明 有料指定ごみ袋の販売組数			活	名称	有料	ŀ指定	ごみま	泛販売組数					単位	組
成果(効果・予測) 指標値できます。 予定 1,088,910 1,123,430 1,214 ・ごみの排出抑制と、受益者負担の適正化を図ることができます。 大方動指標をできます。 名称 単位 大容説明 大方動指標値を対象の表現を定した供給が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要 予定 1,088,910 1,123,430 1,214 本のないました供給が必要でき。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要 本のないました供給が必要 本のないました供給が必要 本のないました供給が必要 予定 ま積 第日本 (当該年度) 3年度			動	内容説	明	有料	指定	ごみ袋の販	売組数					
成果(効果・予測) 名称 名称 名称 単位 ・ごみの排出抑制と、受益者負担の適正化を図ることができます。 活動指標 2 名称 31年度 2年度(当該年度) 3年 ・他自治体からの転入者などに対し、市民への有料指定ごみ袋制度の周知が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必 指標値 3 第1年度 2年度(当該年度) 3年 ・他自治体からの転入者などに対し、市民への有料指定 ごみ袋制度の周知が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必 指標値 3 下皮 31年度 2年度(当該年度) 3年 ・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必 ・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必 ・					_			31年	度	2年度	(当該年	度)	3年度	
成果(効果・予測) 実績 1,139,440 1,208,410 1				指標値		予	定	1, 088,	910	1, 123, 430]	1, 214, 950	
・ ごみの排出抑制と、受益者負担の適正化を図ることが できます。	3. 子训)		-			実	績	1, 139,	440	1, 20	08, 410			_
Tan		 賃負担の適正化を図ることが		夕称									畄位	
大字説明	1.1.4 = 1. 3.4		活										丰四	
課題 名称 内容説明 ・他自治体からの転入者などに対し、市民への有料指定ごみ袋制度の周知が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必ず。 指標値 予定 実績 31年度 2年度(当該年度) 3年 2年度(当該年度) 3年				内容説	明									
2 指標値 すべっ 実績 ーー 課題 ・他自治体からの転入者などに対し、市民への有料指定ごみ袋制度の周知が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要です。・・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必要です。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			指					31年	度	2年度	(当該年	度)	3年度	
大きの 大き			標	均煙(古	予	定							
課 題 名称 「内容説明 ・他自治体からの転入者などに対し、市民への有料指定 ごみ袋制度の周知が必要です。 指標値 予定 実績 予定 ま積			2	扫惊		実	績							
課 題 指 地画 ・他自治体からの転入者などに対し、市民への有料指定ごみ袋制度の周知が必要です。 指標値 予定 実績 ・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必 実績 ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー				名称									単位	
課題 指標値 31年度 2年度(当該年度) 3年 ・他自治体からの転入者などに対し、市民への有料指定ごみ袋制度の周知が必要です。 ・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必 事績 ーー					588									
・他自治体からの転入者などに対し、市民への有料指定 ごみ袋制度の周知が必要です。 ・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必				1,10,000	10.01			91年	由	り任由	(坐該在	₩/	2年由	£
ごみ袋制度の周知が必要です。・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必 3 1 1 5 5 6 7 7 8 7 7 8 7 8 7 7 8 7 8 7 8 7 8 9 </th <th>この転入者な</th> <th></th> <td></td> <td></td> <td>Г</td> <td></td> <td>_</td> <td>314</td> <td>· 皮</td> <td>2年及</td> <td>(当該牛</td> <td>(支)</td> <td>0年度</td> <td></td>	この転入者な				Г		_	314	· 皮	2年及	(当該牛	(支)	0年度	
・引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給が必 実績				指標係	直	ブ	疋							
						実	績							-
要です。			' '	名称									単位	
Table Tab				内容説	明									
指 31年度 2年度(当該年度) 3年			指					31年	度	2年度	(当該年	度)	3年度	
標料指標値や予定し				指標	直	予	定							
4			4			実	績							_

 30年度
 I:現状のまま継続
 31年度
 I:現状のまま継続

・ごみの排出抑制と費用負担の公平性を図るには、家庭系有料指定ごみ袋の制度は有効であり、現行制度を 維持するため、有料ごみ袋の計画的な製造供給を行います。

5.評価結果										
	Ī	评価結果	, i	市が関与する必要性があるか。						
	30年度	31年度	2年度	A:市が関与する必要性が高い。						
市の関与の妥当性	А	А	Α	・家庭系ごみの発生抑制は、自治体が主体的に発案し行うべきものであり、それに関わる部分でごみ袋の製造や手数料徴収など、委託できるものは民間に委託しています。						
	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。						
	30年度	31年度	2年度	A:十分に成果を上げている。						
事務事業の成果	А	А	Α	・平成16年度に本事業を開始してから、多くの市民がごみに関心を持ち、ごみの減量化、資源化が図られてきました。年々事業の効率化が図られ、現在に至っています。						
	Ī	评価結果	Į	事業費、人件費は適正か。						
	30年度	31年度	2年度	A:経費は適正な水準である。						
事業費・人件費	А	А	А	・事業における外部への業務委託が可能な部分は委託化が行われており、最低限の事業費および人件費で事業を実施しています。						
	Ī	评価結果	Į	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。						
	30年度	31年度	2年度	A:受益・負担は適正である。						
受益・負担の公平性	Α	Α	Α	・本事業は、ごみを処分したい受益者が、その処理する量に応じて定められた手数料を支払う仕組みをつくり、運営するための事務事業です。・市民が負担する手数料は、議会の議決に基づいています。						
	Ī	评価結果	Į	市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた 取り組み4点について十分に行ったか。						
	30年度	31年度	2年度	A:社会的配慮を十分に行っている。						
社会的配慮	А	Α	Α	 ・ごみの排出の仕方や収集方法について、パンフレットの全戸配布や広報、スマートフォン用アプリ等により市民への周知を図りました。 ・ごみ袋へ外国語の表記(8ヶ国語)をしています。 ・ごみの減量化と資源化の推進により環境負荷への軽減を図りました。 						

	令	和2年度 事務事業	評価表	9237 一般会計
事務事業名	生ごみ処理容器等設置支援	事業		
車致車業担业	部 名	課名	担当名	責任者
事務事業担当	環境施設農政部	廃棄物対策課	資源・廃棄物対策係	小目山 隆一

1. 位置づけ・事務事業	と									
1. 四世 ノリ 予切予ス	基本目		まちの健康・	環境にも人にも優しい快適な都市空間が	整うまち					
総合計画体系	個別目	標		環境を守り育てる						
	めざす	成果	ごみの減量・	資源化により循環型社会への歩みが進み	、清潔なまちが維持されて					
根拠法令	名称									
当該事業の法令等によ	る義務付け	の有無	無							
車殺車業の期間		事業開始年度		事業終了(予定)年度	事業期間					
事務事業の期間 平成02年度					設定無し					

	平成02年度										設定第	悪し	
2. 事務事業の概要													
<u>z: 字切字来以版文</u> 対 象		総事	業費								(単	<u> </u>	千円)
市民・事業所・自治会				31年	度	(決	算額)	2年度	(決算額	額)	3年度		
		事	業費				3, 760			3, 805	1.2	· · · · · ·	3, 18
		人	、件費				3, 996		4	4, 236			3, 93
目的		総	事業費				7, 756			8, 041			7, 12
ごみの減量化・資源化を	図るために、生ごみ処理容器等		3年度事				頁) 財源内	訳					
の設置を推進します。				国式									
						金							
手段、手法【実施手法				市債									
	置者に対し、購入費の一部を助			その									3, 18
成します。				一般		源							0.10
			T #4	<u>合</u>	計								3, 18
		3.7	活動内容										
		活		浦助件		4 <i>4</i> 5	л±п т	±₩=c - d	5 V/ / -	σ±υ./-	T (#) 1	単位	基
		動指	内容説明	月 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	IJX	可家(の市民、事	₱業別、目 F度		(当該年		3年度	ŗ.
		標	上 上指標値	· 子	÷ ;	 定	11			107		108	
成果(効果·予測)		1			E #	績	10)4		123			_
・生ごみ処理容器等の積	極的な活用により、生ごみの減	`~	名称									単位	
重化・資源化、市民の ます。	リサイクル意識の向上が図られ	活動	内容説明	明									
		指					31年	F 度	2年度	(当該年	度)	3年度	Ę
		標 2	指標値	· 子	,	定							
				実	E #	績							
		活	名称									単位	
		動	内容説明	明									
課題		指					31호	F度	2年度	(当該年	度)	3年度	Ę
	促進のため、パンフレット、広 アプリ、ホームページ等により	標 3	指標値	· 予	} ;	定							
報、スマートフォン用 周知を図っていく必要		3		実	E #	績							_
		活	名称									単位	
		動	内容説明	明									
		指煙					31±	丰度	2年度	(当該年	度)	3年度	Ę
		標 4	指標値	·	- :								
				実	E #	積							_

| 30年度 | II:見直しのうえで継続 | 31年度 | I:現状のまま継続 | 2年度 | II:見直しのうえで継続

・ごみの減量化・資源化に対する意識向上と言う制度開始当初の目的は概ね達成しており、また予算の範囲 内で限られた市民に補助すると言う受益の公平性を踏まえ、事業の必要性などを精査します。

5.評価結果										
	Ī	评価結果	Į	市が関与する必要性があるか。						
	30年度	31年度	2年度	A:市が関与する必要性が高い。						
市の関与の妥当性				・生ごみ処理容器等の購入費の一部助成ができるのは、市のみです。						
	А	А	А							
	Ī	评価結果	//m	らに成果を上げるにはどうしたらよいか。						
	30年度	31年度	2年度	A:十分に成果を上げている。						
事務事業の成果				・生ごみ処理容器等の購入希望者に、購入費の一部助成を行います。						
	В	В	А							
	Ī	评価結果	Į	事業費、人件費は適正か。						
	30年度	31年度	2年度	A:経費は適正な水準である。						
事業費・人件費				・平成31年度から補助限度額を拡大しましたが、事業費は適正な水準となっていま						
	Α	Α	Α	す。 ・人件費は、補助事務に必要な最小限の人工で対応しています。						
				7 (1) X (3) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1						
	Ī	评価結果	1	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。						
	30年度	31年度	2年度	C:全面的な見直しが必要である。						
受益・負担の公平性				・生ごみ処理容器等の設置を推進するためには、現行の負担割合は適正です。						
	Α	Α	С	・しかしながら、ごみの排出抑制や資源化の啓発を行うという制度開始当初の役割は 概ね完了しており、また特定の市民に予算を投じて実施する受益の公平性を踏まえ						
				ると、事業の必要性について精査が必要です。						
	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた 取り組み4点について十分に行ったか。						
	30年度	31年度	2年度	A:社会的配慮を十分に行っている。						
社会的配慮				・情報提供については、全戸配布のパンフレット、広報誌、ホームページ、スマート						
	Α	Α	Α	フォン用アプリ、チラシ等で周知を図りました。 ・生ごみの減量化は環境負荷を軽減します。						

	令	和2年度	事務事業詞	平価表	9238 一般会計
事務事業名	資源分別回収推進支援事業				
車致車業担业	部 名	課	名	担当名	責任者
事務事業担当	晋	廃棄 物	対策課	答順· 感棄物 対策係	小日川 降一

1. 位置づけ・事務事業	美の期間								
	基本目	標	まちの健康・	環境にも人にも優しい快適な都市空間が	整うまち				
総合計画体系	個別目	標	環境を守り育	でる					
	めざす	成果	ごみの減量・	みの減量・資源化により循環型社会への歩みが進み、清潔なまちが維持され					
		廃棄物の処理及	及び清掃に関す	び清掃に関する法律					
根拠法令	名 称	容器包装リサイ	字器包装リサイクル法						
当該事業の法令等による義務付けの有無			有						
事務事業の期間		事業開始年度		事業終了(予定)年度	事業期間				
事務争未の 期间		平成03年度			設定無し				

平成03年度										設正無し	
2. 事務事業の概要											
対 象	総事	業費								(単位	: 千円)
市民			3	11年度	[(決	算額)	2年度	(決算額	須)	3年度(予	
	事	業費				552, 119			3, 179	- 1,2 ()	614, 410
	人	件費				14, 726		18	3, 578		18, 280
目的	総	事業費				566, 845		631	, 757		632, 690
資源分別回収の実施により、ごみの資源化を図ります。		3年度	事業	費(·	予算額	〕財源内	訳				
				国支							0
				県支に	出金						0
手段、手法【実施手法:直営・委託				市債							0
・分別された資源をリサイクルステーション、拠点回収				その							245, 174
場所、資源選別所で回収します。				一般							369, 236
・A資源とB資源は、それぞれ月2回(計4回)の回収	_			計							614, 410
を行います。	3.	活動内	I容_								
・その他プラスチック製容器包装は、週1回の回収を行います。	活	名称	資》	原回収	の回数	数				単位	立 回
・回収した資源の選別、圧縮、梱包、保管を行います。	動	内容記	说明	回収	数の	合計(AB資	源48回+	プラ52回]) ×ステ	ーション数	女
	指					31年	度	2年度	(当該年度	3全	F度
	標	指標値		予	定	134, ′	700	136, 200		137	, 700
成果(効果・予測)	1	111/		実	績	136, 2	200	137, 700			
・資源分別回収の実施により、ごみの減量化、資源化が		名称	古お	妾受 入	化粉	-				単位	立 件
促進されます。	活								+ I-	- ''	
・ごみの減量化・資源化によって、持続可能な循環型社	動			貸馮	選別		- /				
会の形成・維持、環境の保全が図られます。	指					31年	度	2年度	(当該年度	(3年	F度
	標 2	指標	値	予	定	43, 4	137	43	, 881	46,	394
				実	績	43, 8	881	46	, 394		
		名称						'		単位	立
	活動	内容記									
課 題	指					31年	度	2年度	(当該年度	3全	 F度
・ごみの減量化・資源化の推進、及び資源の分け方・出	標	 指標	估	予	定			- 1 2			
し方のマナー向上を図るため、引き続き市民への啓発	3	1日7本		実	績						
を行うことが必要です。		名称			120					単位	<u>.</u>
	活		¥ 00							71.	4
	動	内容記	元明			01 <i>F</i> =	中	0左中	(业計左中) 26	c ##
	指標			7	_	31年	· 爻	2千度	(当該年度	31	F度
	4	指標	値	予	定						
	_			実	績						

30年度 I:見直しのうえで継続 31年度 I:現状のまま継続 2年度 I:現状のまま継続

- ・資源分別の意識向上と知識を深めるため、分別についての啓発を図ります。
- ・現行のリサイクルステーションの管理体制を維持するため、自治会等と連携しながら地域の実情に即した 支援等を行っていきます。

今後の方針等

・資源回収業務を行う施設の維持管理等について検討します。

5.評価結果				
	į	評価結果	Į	市が関与する必要性があるか。
	30年度	31年度	2年度	A:市が関与する必要性が高い。
市の関与の妥当性	А	Α	Α	・法令で市は分別収集の啓発、収集・運搬、処理の措置を講じることと定められています。・自治会との調整が必要であり、市の関与は不可欠です。
	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	30年度	31年度	2年度	A:十分に成果を上げている。
事務事業の成果	А	А	Α	・資源回収は市内全域、全自治会の協力により行われています。 ・直接受入れ件数も増加しており、市民の資源分別回収に対する意識の向上が見られ ます。
	Ī	評価結果	Į	事業費、人件費は適正か。
	30年度	31年度	2年度	A:経費は適正な水準である。
事業費・人件費	А	А	Α	・報奨金は規則に基づき支払っています。・委託料は、単価契約による出来高払いです。・事業を適切かつ着実に進めるにあたり必要最低限の事業費で行っています。・人件費は最低限必要な水準です。
	Ī	評価結果	Į	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	31年度	2年度	A:受益・負担は適正である。
受益・負担の公平性	А	А	Α	・市民から排出される資源物をリサイクルステーション等で分別回収することにより 資源のリサイクルが適切に行われ受益の公平性が保たれています。
	Ī	評価結果	Į	市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた 取り組み 4 点について十分に行ったか。
	30年度	31年度	2年度	A:社会的配慮を十分に行っている。
社会的配慮	А	А	Α	・全市民の参加を基本としています。・情報提供については、パンフレット全戸配布、広報、ホームページ、スマートフォン用アプリ等で十分行っています。

	令和	和2年度 事務事業記	平価表	9242 一般会計
事務事業名	塵芥収集事業			
事務事業担当	部名	課名	担当名	責任者
争份争未担ヨ	環境施設農政部	室棄物対策 課	収集係	小月山 降一

1. 位置づけ・事務事業	1.位置づけ・事務事業の期間								
	基本目標	漂	まちの健康・	環境にも人にも優しい快適な都市空間が	整うまち				
総合計画体系	個別目	漂	環境を守り育	環境を守り育てる					
	めざすり		ごみの減量・	ごみの減量・資源化により循環型社会への歩みが進み、清潔なまちが維持されて					
		廃棄物の処理及	及び清掃に関す	る法律					
根拠法令	名 称								
当該事業の法令等によ	る義務付け	の有無	有						
事務事業の期間		事業開始年度		事業終了(予定)年度	事業期間				
事務争未の 期间		昭和49年度			設定無し				

2. 事務事業の概要												
対 象	総事	業費								(肖	单位:千	-円)
市民			3	1年度	(決	算額)	2年度	(決算	額)	3年度	(予算額	頚)
	事	業費				309, 846		32	2, 828		342	2,623
	人	、件費				452, 647		44	5, 470		461	1, 140
目的	総	事業費				762, 493		76	8, 298		803	3, 763
家庭から排出されるごみを収集し、衛生的で快適な生活		3年度事	業	費(予	予算額	頁) 財源内	引訳					
環境を確保します。				国支出								0
				県支出	出金							0
手段、手法【実施手法: 直営・委託 】			_	市債								0
・可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの戸別収集を行いま				その他							124	4, 452
す。				一般則								8, 171
				計 台	•						342	2, 623
	3.	活動内容	容									
	·-	名称	1 F	の可	燃ごる	みの総量					単位	t
	活動	内容説	明	家庭	の可煙	燃ごみの収	又集量		•			
	指	指煙値 指標値				31年	F度	2年度	(当該年度	Ę)	3年度	
	標 1			予	定	11	.0	110			110	
成 果(効果·予測)	l '			実	績	10)6	110				
・快適な生活環境を確保します。	ļ	名称	1日の不燃ごみの総量 単位 t								t	
	活動	内容説	明	家庭の不燃ごみの収集量								
	指					31年	F度	2年度	(当該年度	Ę)	3年度	
	標 2	 指標値	直	予	定	9)		9		9	
				実	績	7	7		8			
	活	名称	1 F	日の粗	大ごる	みの総量					単位	t
	動	内容説	明	家庭	の粗	大ごみの収	又集量					
課題	指					31年	F度	2年度	(当該年度	Ę)	3年度	
・ごみの排出ルール違反、不法投棄に対する継続的なパトロールが必要です。	標 3	 指標値	直	予	定	3.	7		3. 7		4. 2	
				実	績	3.	5		4. 2			
	活	名称									単位	
	動	内容説	明									
	指					31年	F度	2年度	(当該年度	Ę)	3年度	
	標 4	指標値	直	予								
				実	績							

4. 今後の方針等						
	30年度	I :現状のまま継続	31年度	I :現状のまま継続	2年度	I :現状のまま継続
	・排出ル	ール違反や不法投棄に対す	する継続的	」なパトロールを行います。		
今後の方針等						
7 24 7521 3						

5.評価結果										
	ī	平価結果	,) -	市が関与する必要性があるか。						
	30年度	31年度	2年度	A:市が関与する必要性が高い。						
市の関与の妥当性	A A A			廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、一般廃棄物の収集運搬と処分は自区内 処理として市が行う責務があります。						
		评価結果	, i =	さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。						
	30年度	31年度	2年度	A:十分に成果を上げている。						
事務事業の成果				・市民の快適な家庭生活環境を確保しています。						
	А	Α	Α							
	Ī	平価結果	į	事業費、人件費は適正か。						
	30年度	31年度	2年度	A:経費は適正な水準である。						
事業費・人件費	А	Α	Α	・可燃ごみ、不燃ごみの収集運搬業務委託は入札により事業者を決定しています。・可燃ごみ、粗大ごみの直営による戸別収集は、最小限の人工で運営しています。						
	Ī	平価結果	Į	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。						
	30年度	31年度	2年度	A : 受益・負担は適正である。						
受益・負担の公平性	А	Α	Α	・ごみの収集運搬は市の責務ですが、ごみ袋を有料化し、粗大ごみ証紙を購入していただくなど、市民に適正負担をお願いしている。						
	Ī	评価結果	Į	市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた 取り組み4点について十分に行ったか。						
	30年度	31年度	2年度	A:社会的配慮を十分に行っている。						
社会的配慮	А	Α	Α	・「家庭の資源とごみの分け方・出し方」のパンフレット、カレンダーを全戸配布するとともに、ホームページやスマートフォン用アプリで確認できるようにしています。・ごみの減量化により、環境負担を軽減します。						

	令	和2年度 事務事業	評価表	15395 一般会計
事務事業名	ごみ減量化推進事業			
事務事業担当	部 名	課名	担当名	責任者
尹彻尹未担ヨ	環境施設農政部	廃棄物対策課	資源・廃棄物対策係	小日山 隆一

。	# A #11 88									
1. 位置づけ・事務事業	裏の期間									
	基本目	標	まちの健康・	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち						
総合計画体系	個別目:	標	環境を守り育	てる						
	めざす		ごみの減量・	、みの減量・資源化により循環型社会への歩みが進み、清潔なまちが維持されて						
		廃棄物の処理及	逐棄物の処理及び清掃に関する法律							
根拠法令	名 称	循環型社会形成	循環型社会形成推進基本法							
当該事業の法令等によ	る義務付け	の有無	有							
車攻車業の期間		事業開始年度		事業終了(予定)年度	事業期間				
事務事業の期間		平成18年度				設定無し				

平成18年度	ξ								設定無し	
2. 事務事業の概要										
対象	総	事業費							(単位:	千円)
市民等			3	1年度(決算額)	2年度	(決算	額)	3年度(予算	
		事業費			4, 537			204		6
		人件費			9, 102		!	9, 512		4, 75
目的	総	念事業費			13, 639		!	9, 716		4, 82
ごみの減量化及び資源化の推進を図ります。		3年度			額)財源内	訳				
			-	国支出金						
				県支出金	:					
手段、手法【実施手法:直営	1			市債						
・ごみ量、資源化量の推移等を公開します。 ・ごみの減量化・資源化の啓発を行うとともに、市	已华			その他 一般財源	;					6
・こみの極重化・資源化の合発を打りこともに、川 の協力のもと施策を推進します。	八寺			一般知识 3 計						6
・一般廃棄物処理基本計画の目標達成に向け、ごみ	の減 3	活動戊		- н						0
量化・資源化の取組みを進めます。		名称		最等での原	月知回数				単位	□
	活動		兑明	ごみ減	量化・資源化	 とに関する	5市民へ	の周知回数	数	
	指				31年	度	2年度	(当該年度	3年月	隻
	標		値	予 定	4	Į.		4	2	
成果(効果·予測)	1			実績	4	Į.		2		_
・ごみ・資源を合わせた廃棄物総量の減少、および		名称	市国	民1人1日	当たりの家庭	E系ごみ抜	非出量		単位	g
に伴う処理量・処理費用の減少、処理施設の延命 室効果ガス排出量の減少につながります。		活 内容説		説明 家庭系ごみ総排出量/人口/日						
	指				31年	F度	2年度	(当該年度	3年月	吏
	標 2		値	予 定	44	10	440		439)
				実 績	42	24		438		
	活	名称	IJŧ	ナイクル	മ				単位	%
	動		兑明	(総資)	原化量/総排	出量)×	1 0 0			
課題	指				31年	F度	2年度	(当該年度	3年月	吏
・一般廃棄物処理基本計画に掲げた令和7年度目標 ある「市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量4			値	予 定	31.	. 7	3	31. 8	33.	7
g」及び「リサイクル率32.2%」を達成する				実 績	28.	3. 2 29. 8			_	
具体的な施策等を推進していく必要があります。	活	名称							単位	
	動	」 内容語	兑明							
	指				31年	度	2年度	(当該年度	3年月	隻
	標 4		値	予定						
	7			実 績						_

今後の方針等

30年度 I : 現状のまま継続 31年度 I : 現状のまま継続 2年度 II: 見直しのうえで継続

- ・剪定枝資源化の実証事業について検証を行いましたが、今後必要に応じて他市の事例の調査研究などを行っていきます。
- ・資源化品目の見直し等を検討します。
- ・市民向けの家庭の資源とごみに関するアンケートについて、内容の見直しを行うなど、より効果的な事業となるよう検討していきます。

5.評価結果										
		评価結果	Į	市が関与する必要性があるか。						
	30年度	31年度	2年度	A:市が関与する必要性が高い。						
市の関与の妥当性	А	А	Α	一般廃棄物の処理は市町村の固有事務であり、ごみの減量化・資源化は市が主導して取り組む必要があります。						
		评価結果	Į	さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。						
	30年度 31年度 2年度			B:成果を上げる余地が一部ある。						
事務事業の成果	В	В	В	・近年は主にイベント等での啓発に力を入れてきましたが、より幅広く啓発の機会を 増やすよう検討していきます。						
	Ī	评価結果	Ļ	事業費、人件費は適正か。						
	30年度	31年度	2年度	A:経費は適正な水準である。						
事業費・人件費	А	Α	А	・事業遂行上、必要最小限の事業費および人工であり、引き続き効率的な事業実施に 取り組みます。						
	Ī	评価結果	Į	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。						
	30年度	31年度	2年度	A:受益・負担は適正である。						
受益・負担の公平性	А	А	Α	・ごみ排出量に応じた処理費用負担の適正化の効果検証を継続的に行い、今後も受益 の公平性と負担の適正化を図っていきます。						
	Ī	评価結果	Į	市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた 取り組み4点について十分に行ったか。						
	30年度	31年度	2年度	A:社会的配慮を十分に行っている。						
社会的配慮	А	А	Α	・ごみの減量化、資源化の推進による環境負荷の軽減を目指して、広報、市ホームページ等によるごみの排出量、有料指定ごみ袋の売上額及び使途等の情報提供を行っています。						

	令和	和2年度 事務事業	評価表	27518 一般会計
事務事業名	資源循環型生ごみ処理事業			
車	部名	課名	担当名	責任者
事務事業担当	四块块印曲水如		次汇 成套栅斗竿板	□ □

1. 位置づけ・事務事業	美の期間									
	基本目標	漂	まちの健康・	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち						
総合計画体系	個別目	漂	環境を守り育	環境を守り育てる						
	めざすり		ごみの減量・	資源化により循環型	社会への歩みが進み、	、清潔なまちが維持されて				
		廃棄物処理法								
根拠法令	名 称	循環型社会形成	盾環型社会形成推進基本法							
当該事業の法令等によ	る義務付け	の有無	無							
車攻車業の期間		事業開始年度		事業終了	(予定) 年度	事業期間				
事務事業の期間		平成22年度				設定無し				

平成22年度										設定無し	
2. 事務事業の概要											
対 象	総事	業費								(単位:	千円)
学校給食施設(市内単独調理校8校)			3	1年度	き(決	算額)	2年度	(決算額	()	3年度(予算	
	事	業費				2, 668		2	, 438		2, 983
	人	、件費		7, 400		6, 688			5, 202		
目的	総	事業費				10,068		9	, 126		8, 185
学校給食調理くず等の減量化及び資源化の推進を図りま		3年度事	業	費([·]	予算額	〕財源内	訳				
す。				国支							0
				県支	出金						0
手段、手法【実施手法: 直営・委託				市債							0
・業務用生ごみ処理機で生成された堆肥を使用して収穫				その	也						0
した農作物の学校給食への利用を確認するとともに推				一般							2, 983
進します。				言	-						2, 983
	3.	活動内	容								
仕組みを、環境学習における題材として活用するよう学校に働きかけます。	活	名称	生ご	ごみ奴	理機	への生ごみ	投入量			単位	t
・前年度の資源循環システムによる堆肥化実績、及び農	動	内容説	説明 生ごみ処理機により資源化できた生ごみの量							_	
産物納入実績を単独調理校8校へ報告を行い、環境学	指					31年	度	2年度	(当該年度)	3年	度
習、食育での活用を働きかけます。	標	 指標値	直	予	定	30)	5	30	30	1
」 成 果(効果·予測)	1			実	績	23.	4	10). 8		_
・ごみの減量化・資源化による環境負荷の低減や、地球		名称	生ご	ごみ堆	肥利月	 月量				単位	t
温暖化防止に寄与します。 ・地域農業者との交流や、地域野菜の給食への供給が促	活動	内容説	明	生ご	``み処;	理機で処理	 見した生成	ここ おおま こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん しんしん しん	E 物栽培等		 -量
進されます。	指			31年		度	度 2年度 (当該年原		3年度		
・地域農業の市民へのPRを通して地域農業者の生産意	標	 指標(直	予	定	6			6	6	
欲の向上が図られます。	2			実	績	4. 9	9	1	. 8		_
		名称								単位	
	活動	内容説	明								
課題	指					31年	度	2年度	(当該年度)	3年	 度
・機器導入後の安定した事業推進には、引き続き協力農	標	 指標(i	古	予	定						
家、学校関係者及び教育委員会関係部署との連携が必要です。	3	10.194.11	_	実	績						_
女くり。 ・生ごみ処理機の経年対策や、発生した生ごみの新たな		名称								単位	
資源化手法について検討を行う必要があります。	活	内容説	AB							7-1-	
・生ごみ処理機への生ごみ投入量や、生ごみ堆肥利用量	動	תורבריון.	נטי			01 /-		0左座	(\V =+ /= \ \\	0.4-	
が減少しており、事業のあり方について見直す必要が	指		١			31年	-	2年度	(当該年度)	3年	受
あります。	標	指標値	直	予	定						
	4			実	績						_
				_^	120						

<mark>│30年度</mark> │ Ⅱ:見直しのうえで継続<mark>│31年度</mark> │ Ⅱ:見直しのうえで継続<mark>│2年度 │ Ⅱ:見直しのうえで継続</mark>

・学校給食共同調理場から排出される生ごみについては、全量でなく一部だけでも、委託により、堆肥化に 拘らずに資源化を推進していきます。資源化の手法の調査や環境関連計画への位置付け等の支援を行っていきます。

今後の方針等 ・従来から実施している単独調理校分の資源化については、生ごみ処理機への生ごみ投入量や、生ごみ堆肥利用量が減少していることから、学校や協力農家など関係者の意見も参考に、事業のあり方について見直しを行っていきます。

5.評価結果									
	1	评価結果	Į	市が関与する必要性があるか。					
	30年度	31年度	2年度	A:市が関与する必要性が高い。					
市の関与の妥当性	A A A		Α	市が排出する生ごみを減量化・資源化するための事業であり、排出事業者の責務 して取り組む必要があります。					
	Ī	評価結果	Į	さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。					
	30年度	31年度	2年度	B:成果を上げる余地が一部ある。					
事務事業の成果	В	В	В	・学校給食共同調理場から排出される生ごみについては、全量でなく一部だけでも、 委託により、堆肥化に拘らずに資源化を推進していきます。					
	Ī	评価結果	Į	事業費、人件費は適正か。					
	30年度 31年度 2年度			A:経費は適正な水準である。					
事業費・人件費	А	А	А	・事業遂行上、必要最低限の事業費及び人工であり、引き続き効率的な事業実施に取り組みます。					
	Ī	评価結果	į	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。					
	30年度	31年度	2年度	A:受益・負担は適正である。					
受益・負担の公平性	A A A			・市施設が排出する生ごみの減量化・資源化を推進する事業であり、地域、人、団体 等による受益・負担に偏りはありません。					
	Ī	评価結果	Ļ	市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた 取り組み4点について十分に行ったか。					
	30年度	31年度	2年度	A:社会的配慮を十分に行っている。					
社会的配慮	А	А	Α	・ごみの減量化・資源化の推進による環境負荷の軽減とともに、資源循環システムを 構築し、食育や地域農業の振興等につながる取組みとして、市ホームページによる 情報提供を行っています。					

	令	和2年度 事務事業	評価表	9236 一般会計
事務事業名	環境事業推進員事業			
事務事業担当	部 名	課名	担当名	責任者
争伤争未担ヨ	晋暗旃敦曹 政郭	 	咨酒, 皮畜物 计等区	小月山 隆一

4 从里之山 有效有4	* A #1188				
1. 位置づけ・事務事業	長の期间				
基本目標			まちの健康・	環境にも人にも優しい快適な都市空間を	が整うまち
総合計画体系	計画体系			てる	
	めざすり		ごみの減量・	資源化により循環型社会への歩みが進る	y、清潔なまちが維持されて
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等によ	る義務付け	の有無	無		
す 改 市 类 の 畑 囲		事業開始年度		事業終了(予定)年度	事業期間
事務事業の期間		平成05年度			設定無し

	平成05年度										設定犯	烘し	
2. 事務事業の概要													
		総事	業費								(単	<u>i</u> 位:千	円)
市民				3	31年度	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	算額)	2年度	(決算額	額)		(予算額	
		事	業費				2, 012			1,886			, 17
		人	、件費				8, 214		4	2, 155		2	, 378
目 的		総	事業費				10, 226		2	4, 041		4	, 55
	して、市民との協力により、地		3年度				頁)財源内	訳					
域の快適な環境づくりを	推進します。				国支								
-m -u					県支	出金							-
手段、手法【実施手法: 直営 ・環境事業推進員は、地域において環境活動等を推進す					市債	ul.							
					その								177
	境事業等にも協力します。 の減量化・資源化に関する活				一般! 合 計								, 17 , 17
	適正な排出指導及び地域の清潔	3 :	活動内		- -								, 11
= '	のごみ処理等の問題点の把握及	<u> </u>	名称		7、11寸/年	্ <i>শূ</i> ক ১	医口心形法					出任	
び意見の抽出」などを		活	名称	_ #			原回収指導					単位	回
1,2,52 (1,1,1,2,1,1,2,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1		動	内容記	兑明	推進	員数	\times 4回 \times 12 $)$	月					
		指					31年	度	2年度	(当該年度	₹)	3年度	
		標	 指標	値	予	定	3, 30	60	2	, 928		2, 736	
成 果(効果·予測)		1	111/1/	"-	実	績	2, 9	52	2	, 904			
	に関する諸課題の解決や地域の		名称	·晋·	音イベ	ンノトダ	L 等における	活動				単位	人
快適な環境づくりの推		活			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							+ 14	<u> </u>
		動	内容記	党明	推進	美人数	×3回/年						
		指					31年	度	2年度	(当該年度	₹)	3年度	
		標 2	指標	値	予	定	210	0		183		114	
		2			実	績	180	6		0			
		·-	名称					·				単位	
		活動	内容記	党明							· ·		
 課 題		指					31年	度	2年度	(当該年度	₹)	3年度	
	数が減少傾向にあるため、定数	標	 指標	値	予	定							
の確保に努める必要が	あります。	3	7.1	.—	実	績							
			名称									単位	
		活動	内容記	兑明									
		指					31年	度	2年度	(当該年度	ŧ)	3年度	
		標	 指標	値	予	定							
		4	1日1示	IIC		績							_
					—	小只							

<mark> 30年度</mark> Ⅰ:現状のまま継続 <mark> 31年度</mark> Ⅰ:現状のまま継続 <mark> 2年度</mark> **Ⅱ:見直しのうえで継続**

- ・令和2年度にそれまでの非常勤特別職から行政協力員になりましたが、推進員のなり手が少なくなっており再任となる推進員がほとんどで、高齢化も進み、推進員自身や選出する自治会の負担になっています。また、分別ルール(資源の出し方)が定着するなど、推進員制度開始当初の役割は概ね完了し、またアプリも普及するなど推進員でなければできないことも少なくなってきています。
- ・令和3~4年度の現在の任期以降における、事業のあり方などについて、見直しを行います。

	令	和2年度 事務事業	評価表	9239 一般会計
事務事業名	事業系ごみ処理適正負担事	業		
車致車業担业	部 名	課名	担当名	責任者
事務事業担当	環境施設農政部	感棄 物 対	資源 • 廢棄物対策係	小日川 降一

1. 位置づけ・事務事業の期間									
1. 位置 217 平切于2	基本目標			環境にも人にも優しい快適な都市空間が	整うまち				
総合計画体系	個別目:	標	環境を守り育	てる					
	めざす	成果	ごみの減量・資源化により循環型社会への歩みが進み、清潔なまちが維持され						
		廃棄物の処理及	及び清掃に関す	る法律					
根拠法令	名 称								
当該事業の法令等によ	る義務付け	の有無	有						
事務事業の期間		事業開始年度		事業終了(予定)年度	事業期間				
ずのサネの別問		平成11年度			設定無し				

	平成11年度										設定	無し	
2. 事務事業の概要													
対象		総事	業費								<u>í</u>)	単位: -	千円)
市内事業者 (所)		1,10. 1	- >/- >-	3	31年度		算額)	2年度	(決算額	類)		(予算	
		事	業費				11, 419			1,826	1 /2		2, 754
		人	件費				5, 032			3, 195			2, 898
目 的		総	事業費				16, 451		15	5, 021		1	5, 65
事業所から排出されるご	みの減量化と適正負担の徹底を		3年度				頁)財源内	訳		,			
図ります。					国支								
					県支に	出金							(
手段、手法【実施手法					市債								(
・事業系ごみの適正処理に向けた指導・啓発を行いませ					その							1	2, 75
す。	*** こと 古米スナツ (4) ウィル				一般							1	9. 7E
・事業系ニみ少重排出事を使用した収集の申込	業所から事業系有料指定ごみ袋	2 :	活動内		計							1	2, 75
	受利を打いまり。 所有者等を対象に減量化等計画	<u>3.7</u>			no.							224 / L	
書の提出を求めます。	別有有等を対象に概重化等計画	活	名称	啓	爸							単位	所
自り促出と不のよう。		動	内容詞	兑明	適正	処理	• 適正負担	啓発パン	/フレッ	ト等配布	事業所		
		指			<u>'</u>		31年	度	2年度	(当該年度	麦)	3年度	
		標	 指標	佔	予	定	264	4	:	215		196	
		1	1017		=	績	215	=	196				
成果(効果・予測)					天	不 良	216)		190			
	発を行うことで、一般廃棄物と	·-	名称	有料	有料指定ごみ袋製造・保管・配送組数 単位 糸							組	
産業廃棄物の適正処理・事業系有料指定ごみ係	が図られます。 による手数料の徴収により、事	活動											
業系ごみの適正負担が		指					31年	度	2年度	(当該年度	隻)	3年度	
		標	 指標	店	予	定	8, 62	29	8.	, 156		7, 970)
		2	1日1示	胆						100			
					夫	績	7, 82	24	(,	, 189			_
			名称	パ	トロー	ル啓	発実績					単位	件
		活動	内容記	兑明	パト		ル件数						
		指					31年	度	2年度	(当該年度	隻)	3年度	
新規事業者の把握を行	う必要があります。	標	+F-1#	ı 	予	定	30, 0	-), 000		30, 00	
・ルール違反事業者に対	して、事業系ごみの適正処理に	3	指標	1但			,				_		
向けた指導・啓発を行	う必要があります。				実	績	22, 4	.39	26	5, 503			_
		·T	名称	減量	量化等	計画	書提出件数					単位	件
		活動	内容記	兑明	減量	化等	計画書の提	出件数					
		指					31年	度	2年度	(当該年度	隻)	3年度	
		標	 指標	佔	予	定	88			82		73	
		4	1日作	但		績	82			73			
					夫	視	82			13	\perp		_

 30年度
 I:現状のまま継続

 31年度
 I:現状のまま継続

- ・パトロールや市民からの情報提供等により、新規事業者の把握に努めます。
- ・ルール違反事業者を個別訪問し処理方法等を周知徹底することで、事業系ごみの適正処理を推進します。

	令和	和2年度 事務事業語	平価表	9243 一般会計
事務事業名	犬猫死体収集運搬事業			
事務事業担当	部 名	課名	担当名	責任者
争伤争未担ヨ	環境施設農政部	廃棄物対策課	収集係	小日山 隆一

1. 位置づけ・事務事業	美の期間								
	基本目標	漂	まちの健康・	環境にも人にも優しい快適な都市空間	が整うまち				
総合計画体系	個別目	漂	環境を守り育	てる					
	めざすり	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ごみの減量・資源化により循環型社会への歩みが進み、清潔なまちが維						
		動物の愛護及び	物の愛護及び管理に関する法律						
根拠法令	名 称								
当該事業の法令等によ	る義務付け	の有無	有						
車殺車業の期間		事業開始年度		事業終了(予定)年度	事業期間				
事務事業の期間		昭和49年度			設定無し				

2. 事務事業の概要										
対 象	総事	業費							(単信	立:千円)
市民			31年度	き(決		2年度(決算額	(1)	年度(予算額)
		業費			2, 348			, 169		3, 336
		、件費			3, 552			, 682		3, 938
目的	総	事業費			5, 900		6	, 851		7, 274
市内環境の衛生保持のため、路上で死亡した野良犬、野		3年度事業			頁) 財源内訳					
良猫等の死体を収集・運搬し、処理します。			国支							0
		-	県支	出金						0
手段、手法【実施手法:委託】			市債	116						0
・市民から通報を受けた後、回収処理します。		その他								0
	一般 合言									3, 336 3, 336
	2	活動内容								3, 330
	<u>S.</u>		X+++ - TT* /-1-	• I I I I I I	か /4- ※4- / /エ 月日 \				22	4 14 /4
	活	名称 犬	強化体	回収?	等件数(年間))			-	单位 件
	動	内容説明	野良	ł犬、	野良猫等の死位	三体の回収等件数				
	指				31年度	F度 2年度 (当該 ^在		(当該年度)	3	3年度
	標	 指標値	予	定	750		7	50		620
成 果(効果·予測)	1		実	績	752		6	19	_	
・快適な生活環境が保たれます。		名称				'			単	单位
	活									
	動	内容説明								
	指				31年度	2	年度	(当該年度)	3	3年度
	標 2	指標値	予	定						
			実	績					-	
	活	名称							单	单位
	動	内容説明								
課題	指				31年度	2	年度	(当該年度)	3	3年度
・速やかな回収を行う必要があります。	標。	 指標値	予	定						
	3		実	績					-	
		名称							単	 位
	活動	内容説明								
	指				31年度	2	年度	(当該年度)	3	3年度
	標	 指標値	予	定						
	4	JH ()K III	実	績					_	

. 今後の方針等						
	30年度	I : 現状のまま継続	31年度	I : 現状のまま継続	2年度	I : 現状のまま継続
	・今後も	業務を委託することで、総	圣済的・亥	効率的に業務を行います。		
今後の方針等						
7 反 0 7 万 平						

	令	和2年度 事務事業詞	平価表	9245 一般会計
事務事業名	塵芥収集車両等維持管理事	務		
車 敦 車 樂 扣 业	部 名	課名	担当名	責任者
事務事業担当	環境施設農政部	廃棄物対策課	収集係	小日山 降一

1. 位置づけ・事務事業	美の期間								
	基本目	標	まちの健康・	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち					
総合計画体系	個別目	標	環境を守り育	環境を守り育てる					
	めざす	成果	ごみの減量・	資源化により循環型社会への歩みが進み	、清潔なまちが維持されて				
		道路運送法							
根拠法令	名 称	道路運送車両法	鱼路運送車両法						
当該事業の法令等によ	る義務付け	の有無	有						
車数車業の期間		事業開始年度		事業終了(予定)年度	事業期間				
事務事業の期間		昭和49年度			設定無し				

2. 事務事業の概要												
対 象	総事	業費								(直	单位:-	千円)
車両			3	11年度	きくり	算額)	2年度	(決算額	頁) 3	3年度	(予算	額)
	-	業費				23, 306			, 484			6, 021
		件費				12, 896			3, 121			2, 377
目的	総	事業費		36, 202 37, 605							3	8, 398
塵芥収集車両等を適切に維持管理します。		3年度)財源内	n 訳					
				国支								0
了印。				県支持	出金							0
手段、手法【実施手法: 直営 ・塵芥収集車両の定期点検及び整備を行います。				市債	Ш							0
・壁介収集単四の足別は快及の登開を行います。	その他								3, 360 22, 661			
				一般								$\frac{2,001}{6,021}$
	3 ;	活動内		<u> </u>								0,021
	5.4			旧上松	VEI ***						出 / 4.	F
	活	名称	牛师	年間点検回数						単位	回	
	動	内容詞	兑明	法定	点検	を除く、信	壬意の点権	美回数				
						31年	F度	2年度	(当該年度)		3年度	
		 指標値		予	定	20)4	2	204		307	
成 果(効果·予測)	1			実	績	20)4	6	247			-
・専門的知識を有する職員が常に点検・整備を行うこと		名称									単位	
により、塵芥収集車両の適切な維持管理が可能とな	活	内容記	HAA									
り、塵芥収集車両を最良の状態で長期使用することが	動	וים בייון	76-973			01.5	e ete	0 to the	/ N/ =± ()		0 /- 	
できます。	指揮					31年	F度	2年度	(当該年度)		3年度	
	標 2			予	定							
				実	績							-
	活	名称									単位	
	動	内容記	兑明									
課題	指					31年	E度	2年度	(当該年度)		3年度	
・故障に対する迅速な対応が必要です。	標	 指標	値	予	定			. ,22				
	3	10.134		実	績							_
		名称									単位	
	活	内容記	英 88								-,-	
	動指	מישיניון	76-973			31年	FÆ	9年度	(当該年度)		3年度	:
	標			~	_	314	一尺	2十戌	(コ欧千及)		り十段	
	1示 4	指標	値	予	定							
	_			実	績							-

現状のまま継続 31年度 の故障に迅速に対応できる体		続 2年度	I : 現状のまま継続
の故障に迅速に対応できる体	制を整えます。		

	令和	和2年度 事務事業語	平価表	9246 一般会計
事務事業名	し尿処理運搬事業			
事務事業担当	部 名	課名	担当名	責任者
争伤争未担ヨ	環境施設農政部	摩棄物対策課	収集係	小日川 隆一

4 从黑之山 市级市社	K A WORK								
1. 位置づけ・事務事業	長の期间								
	基本目標	票	まちの健康・	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち					
総合計画体系	個別目	票	環境を守り育	てる					
	めざすり		深呼吸したく	架呼吸したくなる空気や、きれいな水に囲まれて生活している					
		廃棄物の処理及	及び清掃に関す	る法律					
根拠法令	名 称								
当該事業の法令等によ	る義務付け	の有無	有						
車殺車業の期間		事業開始年度		事業終了	(予定) 年度	事業期間			
事務事業の期間		昭和40年度				設定無し			

2. 事務事業の概要											
対 象	総事	業費								(単位	: 千円)
市民			3	1年度	き(決	算額)	2年度	(決算額	頁) 3	年度(予	5算額)
	_	業費				29, 346			, 142		44, 634
		件費				3, 922			, 682		3, 938
目的	総	事業費				33, 268		47	, 824		48, 572
し尿を汲み取り、収集運搬します。		3年度事				頁) 財源内	訳				
				国支は 県支は							0
┃ 手段、手法【実施手法: 委託 】				宗又氏 市債	口亚						0
・し尿をバキューム車で汲み取り、収集運搬します。				山頂 そのf	Hı						4, 251
しがといれる。			_	一般則							40, 383
				· 計							44, 634
	3.3	活動内									·
		名称	汲耳	文世帯	(年)	度末実績)				単位	立 世帯
	活動	内容説	説明 年間の汲取世帯数(年度末実績)								
指 楞						31年度		2年度	(当該年度)	34	丰度
		 指標値		予	定	239	9	230		2	10
成 果(効果・予測)	1			実	績	22'	7	2	210	_	
・快適な生活環境を維持します。		名称	汲耳	マロ数 マンティア マイティア かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい						単位	立 回
	活動	为 内容説明		年間	の定	額制汲取回]数+従量	計汲取回	回数		
	指					31年	度	2年度	(当該年度)	34	丰度
	標			予	定	4, 80	00	4,	800	4,	300
	2			実	績	4, 70	61	4,	295	_	
	·T	名称								単位	立
	活動	内容説	明								
課題	指					31年	度	2年度	(当該年度)	34	丰度
・今後も速やかな汲み取り、収集運搬が必要です。	標 3	 指標(直	予	定						
	3			実	績					_	
	· <u>T</u>	名称								単位	立
	活動	内容説	明								•
	指					31年	度	2年度	(当該年度)	34	丰度
	標 4	 指標(直	予	定						
	4			実	績					_	

4. 今後の方針等						
	30年度	I : 現状のまま継続	31年度	I : 現状のまま継続	2年度	I : 現状のまま継続
	・今後も	汲取収集運搬業務を適正な	いつ迅速に	:行います。		
今後の方針等						
7 12 4773 21 13						

	令和	和2年度 事務事業	評価表	9247 一般会計
事務事業名	家庭汚水等収集運搬事業			
事	部 名	課名	担当名	責任者
事務事業担当	環境施設農政部	摩棄物対策課	収集係	小日山 隆一

1. 位置づけ・事務事業	きの期間							
	基本]標	まちの健康・	環境にも人にも優しい快適な都市空間が	整うまち			
総合計画体系	個別	目標	環境を守り育	てる				
	めざ	す成果	深呼吸したく	深呼吸したくなる空気や、きれいな水に囲まれて生活している				
		廃棄物の処理及		る法律				
根拠法令	名 称	水質汚濁防止沒	水質汚濁防止法					
当該事業の法令等によ	る義務付	ナの有無	有					
す 改 市 类 の 知 問		事業開始年度		事業終了(予定)年度	事業期間			
事務事業の期間		昭和45年度			設定無し			

2. 事務事業の概要											
対 象	総事	業費								(単位:	千円)
市民			3	1年度	をしています。	算額)	2年度	(決算客	頁) 3	年度(予	
		業費				9, 518			, 745		10, 099
		、件費				3, 922			, 682	3, 9	
目的	総	事業費				13, 440		14	, 427		14, 037
家庭汚水等を汲み取り、収集運搬します。		3年度				頁) 財源内	訳				
				国支出							0
	-			県支出	出金						0
手段、手法【実施手法:委託】	4			市債	ul.						0
・家庭汚水等をバキューム車で汲み取り、収集運搬しま	_			その作							1, 397
す。				一般 計 計							8, 702 10, 099
	2	活動内		1 6							10, 099
	3.7									単位	111 -444
	活	名称	没耳	文世帯	•						世帯
動 指 持		内容記	ママース 字部 年間の家庭汚水・し尿浄化槽放流水汲取世帯								
						31年	度	2年度	(当該年度)	3年	度
		 指標	指標値		定	54	Į		54	49)
成果(効果·予測)	1			実	績	54	Į.		49		_
・快適な生活環境を維持します。			文台数	[単位	台	
	活動	動 内容説明		年間	の家	庭汚水・し	尿浄化植	 動放流水泡	及取台数		
	指					31年	度	2年度	(当該年度)	3年	度
	標	 指標	値	予	定	1, 5	50	1,	530	1, 5	10
	2			実	績	1, 5	26	1,	508		_
	`~	名称								単位	
	活動	内容記	说明								
課題	指					31年	度	2年度	(当該年度)	3年	度
・今後も速やかな汲み取り、収集運搬が必要です。	標 3	 指標	値	予	定						
	3			実	績						-
	\ <u></u>	名称								単位	
	活動	内容記	说明								
	指					31年	度	2年度	(当該年度)	3年	度
	標	 指標	値	予	定						
	4			実	績						-

4. 今後の方針等						
	30年度	I : 現状のまま継続	31年度	I :現状のまま継続	2年度	I :現状のまま継続
	・今後も	汲取収集運搬業務を適正な	いつ迅速に	こ行います。		
今後の方針等						
/ [X 0 / /] E 47						

	令	和2年度 事務事業	評価表	9910 一般会計
事務事業名	ごみ処理広域化事業			
車 敦 車 樂 扣 业	部 名	課名	担当名	責任者
事務事業担当	理培施型典政部	皮	次酒· 皮弃肠 计笔板	小口山

				·								
1. 位置づけ・事務事業	1. 位置づけ・事務事業の期間											
	基本目標	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち								
総合計画体系	個別目	票	環境を守り育てる									
	めざすり	·	ごみの減量・	ごみの減量・資源化により循環型社会への歩みが進み、清潔なまちが維持され								
		廃棄物の処理及	及び清掃に関す	る法律								
根拠法令	名 称											
当該事業の法令等によ	る義務付け	の有無	有									
古攻古光の知明		事業開始年度		事業終了	(予定) 年度	事業期間						
事務事業の期間		平成10年度				設定無し						

平成10年度									設定無し			
2. 事務事業の概要												
対象	総事	総事業費								(単位:千円)		
大和高座ブロック構成自治体等			31年	度(注	央算額)	2年度	(決算額	頁)	3年度(予			
	事	業費			5			0	- 1 2 (1	15		
	人	、件費			5, 328		5	5, 722		3, 864		
目的	総	事業費			5, 333		5	5, 722		3, 879		
大和高座ブロック4市で効率的なごみ処理システムを構		3年度事	業費	(予算	額)財源内]訳						
築します。			国 支	出金						0		
			長 県 支	出金						0		
手段、手法【実施手法: 直営 】			市債							0		
・大和高座ブロックごみ処理広域化実施計画に基づき、			その	·-						0		
排出抑制、資源化、適正処理及び緊急時の対応を柱と				財源						15		
するごみ処理の広域化を進めていきます。			合	<u>計</u>						15		
	3.	活動内容	}									
		名称	ごみ処	理広域	化に係る会	議等の回	回数		単位	<u>t</u> 🗉		
	活	内容説明	明 大和高座ブロックや国・県等が開催す				ナス 広城	広域化に関する会議等				
	動	פיונים ביונים	, /\	1 H 1H1/3								
	指				31年			(当該年度		- 度		
	標	指標値	予	定	12	2		11	1	0		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1		実	績	4	_		7				
成 果(効果・予測) ・大和高座ブロック4市が連携することで、効率的、か		A 76		120					224 /-	L		
つ安全・安定的なごみ処理体制が確立されます。	活	名称							単位	I		
2女生 女だけなこのだと生性的が確立されなか。	動	内容説明	月									
	指				31年	- 唐	2年度	(当該年度	(表) 3年	 E度		
	標		予	定	011	<i>1</i> 2	- 1/2	(-)	~ 0 1	<i>1</i> 2		
	2	指標値										
			実	績								
		名称							単位	7		
	活								71	-		
	動	内容説明	月									
課題	指				31年	度	2年度	(当該年月	度) 3年	度		
・製品プラ回収など、廃棄物処理に関する国の動向に注	標	 指標値	予	定								
視しながら、本市としての廃棄物処理に関する運用や	3	1日1示心										
施設整備等を検討する上で、大和高座ブロック4市間			美	績								
での協議等を行っていくことが必要です。		名称							単位	<mark>ኒ</mark>		
	活	内容説明	В									
	動		н									
	指				31年	度	2年度	(当該年度	(3年	度		
	標	 指標値	予	定								
	4			績								
			天									

今後の方針等

<mark> 30年度</mark> Ⅱ:見直しのうえで継続<mark> 31年度</mark> Ⅰ:現状のまま継続 <mark>2年度</mark> **Ⅰ:現状のまま継続**

・廃棄物処理に関する国の動向に注視しながら、本市としての将来的な施設整備の在り方を踏まえ、効率的かつ安全・安定的なごみ処理体制を確立するため、大和高座ブロックや県央都市清掃行政連絡協議会、神奈川県ごみ処理広域化推進会議などに参加し、広域処理について検討します。

- ・必要に応じて「神奈川県大和・高座地域循環型社会形成推進地域計画」の改定、変更を行います。
- ・災害発生時に廃棄物処理の対応ができるよう、地域間における相互応援体制の構築等について検討を進めます。

	令	和2年度 事務事業	評価表	11586 一般会計
事務事業名	家具類再生展示施設運営事	業		
車致車業担业	部 名	課名	担当名	責任者
事務事業担当	環境施設農政部	廃棄物対策課	収集係	小目山 隆一

1. 位置づけ・事務事業の期間										
基本目標		まちの健康・	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち							
総合計画体系	個別目	漂	環境を守り育てる							
	めざす		ごみの減量・	ごみの減量・資源化により循環型社会への歩みが進み、清潔なまちが維持されて						
根拠法令	名 称									
当該事業の法令等によ	る義務付け	の有無	無							
す 改 市 类 の 畑 囲		事業開始年度		事業終了(予定)年度	事業期間					
事務事業の期間		平成18年度			設定無し					

予切予木♥/別问	平成18年度										設定無	まし	
2. 事務事業の概要													
対 象		総事	業費								(単	位:千円)	
市民				3	31年度	[(決	算額)	2年度	(決算	額)		(予算額)	
		事	業費				9, 907			9, 957		9, 111	
		人	、件費				3, 922			4, 904	-	4, 087	
目的		総	事業費				13, 829		1	4, 861		13, 198	
廃棄物の減量化・資源化	の拡大を図るため、家具類のリ		3年度	事業	費(⁻	予算額	〕財源内	I訳					
サイクル回収と再使用(リユース)を推進します。				国支	出金						0	
					県支に	金出						0	
手段、手法【実施手法	: 委託 】				市債							0	
	家具類再生展示施設「リサイク				その							1,600	
· -	良品家具類の収集・清掃・展				一般財源							7, 511	
示・頒布等の運営を行	います。				<u> </u>	-						9, 111	
		3.	活動内	容									
		活	名称	再生	主家具	類の短	頂布数				単位 点		
		動	内容詞	说明	家具	類再	生展示施設	とでの再生	家具の	頒布数			
		指					31年	度	2年度	(当該年度)	3年度	
		標	 指標	値	予	定	64	0		640		570	
成果(効果·予測)		1				績	60	00 563					
	た家具等を再使用(リユース)		名称	良占	良品家具類の戸別収集・受入れ数						j	単位 点	
することにより、減量 す。	化、資源化の意識向上が図れま	活動	内容記	社明 再使用(リユース)を目的とした家具類の収集・受ける。						 集・受入	 .n		
	焼却炉の延命化に寄与します。	指	₩				31年			(当該年度		3年度	
		標	 指標	値	予	定	1, 0	10	1	, 010		880	
		2		_	実	績	1, 0	007 877		877			
			名称								j	単位	
		活動	内容記										
課題		指					31年	度	2年度	(当該年度)	3年度	
・ごみの減量化・資源化	を推進し、リユースの意識づけ	標	 指標	店	予	定							
を効果的・効率的に行	うための運営手法の検討が必要	3	1日1示 	胆									
です。					実	績							
・頒布数の増加に向けた	、頒布方法の検討が必要です。	<u> </u>	名称								į	単位	
		活動	内容詞	说明									
		指					31年	度	2年度	(当該年度)	3年度	
		標	 指標	値	予	定							
		4	1111	_	実	績					+		

30年度 Ⅱ:見直しのうえで継続 31年度 Ⅱ:見直しのうえで継続 2年度 **Ⅱ:見直しのうえで継続**

・令和3年10月委託契約期間満了に伴う契約更新時に開館日、頒布方法、頒布金額等を改め、運営方法を見直します。

	令	和2年度 事務事業語	平価表	31989 一般会計
事務事業名	塵芥収集車両等整備事業			
車	部 名	課名	担当名	責任者
事務事業担当	環境施設農政部	廃棄物対策課	収集係	小日山 隆一

1. 位置づけ・事務事業の期間										
	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち							
総合計画体系	総合計画体系 個別目標			環境を守り育てる						
	めざす	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ごみの減量・	ごみの減量・資源化により循環型社会への歩みが進み、清潔なまちが維持されて						
根拠法令	名 称									
当該事業の法令等によ	る義務付け	の有無	無							
車攻車業の期間		事業開始年度		事業終了(予定)年度	事業期間					
事務事業の期間					設定無し					

2. 事務事業の概要												
対象	総事	業費								(単位	: 千円)	
車両			3	1年度	[(決	算額)	2年度	(決算額	頂) 3	年度(予	5算額)	
	事	事業費				28, 752		8, 368				
	人	、件費				4, 440	4, 087			3, 270		
目的	総	総事業費				33, 192		12	2, 455	3, 270		
塵芥収集事業を円滑に推進するために、塵芥収集車両		3年度				頁)財源内部	R					
の整備・更新を行います。				国支は							(
				県支出金							(
手段、手法【実施手法:直営				市債							(
・塵芥収集車両の耐用年数経過時に車両を更新します。				その作							(
				一般則							(
	0 3	エモー		計							(
	3.7											
	活	名称	整值	整備対象のごみ収集車両台数							台 台	
		内容記	兑明	明 直営でごみ収集を行っている車両台数								
						31年月	隻	2年度 (当該年度)		34	丰度	
	標	 指標値		予	定	35		35		35		
成果(効果・予測)	'	1 1		実	績	35		35		_		
・塵芥収集車両を買い替え整備することで、ごみ収集に			買レ	買い替え更新を予定しているごみ収集車両の台数							位 台	
支障が出ないようにし、市民の快適な衛生環境を維持します。	活内容説明			明 直営で買い替え更新を予定しているごみ収集車両の台数								
	指					31年月	隻	2年度	(当該年度)	34	丰度	
	標 2	名内指标名内指标名内	値	予	定	5	5 2		2		0	
				実	績	5		2				
	活	名称							単位			
	動	内容記	兑明									
課題	指					31年月	隻	2年度	(当該年度)	34	丰度	
・塵芥収集車両を計画的に買い替え整備していく必要が あります。	標 3	人公 .<	値	予	定							
<i>w</i> 9 £ 9 °	3			実	績					_		
	活	名称								単位	立	
	動	内容記	兑明								·	
	指					31年月	隻	2年度	(当該年度)	34	丰度	
	標 4	指標	値	予	定							
	4			実	績					_		

4. 今後の方針等 30年度 I:現状のまま継続 31年度 I:現状のまま継続 2年度 I:現状のまま継続 ・買い替え基準(使用11年)に基づき、計画的に塵芥収集車両を更新します。